

配置計画比較検討資料

	A (敷地北側配置案)	B (敷地中央配置案)	C (敷地南側配置案)
配置イメージ			
駐車場計画	<ul style="list-style-type: none"> ・南側にまとまった駐車場を確保できる。 ・職員用と来庁者用のゾーン分けに工夫が必要になる。 ・駐車場が建物の裏側となるため、分かりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A案に同じ 	<ul style="list-style-type: none"> ・北側と西側に分けて駐車場を配置できる。 ・職員用と来庁者用のゾーンを分けやすい。 ・駐車場がメインアクセスに近く、分かりやすい。
広場計画 (防災広場)	<ul style="list-style-type: none"> ・日当たりの良い南側に広場を確保できる。 ・防災広場が建物の裏側となるため、分かりにくい。 ・防災広場と駐車場、庁舎の連携が可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災広場をメインアクセスに近い北側に確保できる。 ・防災広場と駐車場の連携ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災広場をメインアクセスと建物の間に確保。 ・防災広場と駐車場、庁舎の連携が可能。
周辺環境への影響	<ul style="list-style-type: none"> ・北側住宅地への圧迫感の軽減、日影の影響、庁舎からの視線等に配慮が必要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地北側に配置する場合に比べ、北側住宅地への圧迫感の軽減等は軽減されるが、ある程度の配慮は必要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北側住宅地への圧迫感や日影、庁舎からの視線等の影響を最小限に抑えられる。
景観形成・視認性	<ul style="list-style-type: none"> ・南～東側のふもとの中心市街地から建物が見えにくく、まちのシンボルとしての景観づくりが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A案に同じ 	<ul style="list-style-type: none"> ・南～東側のふもとの中心市街地から建物が見え、まちのシンボルとしての景観づくりが可能。
建物配置計画	<ul style="list-style-type: none"> ・北側は東西方向の平場が狭くゆとりの少ない建物配置となる。 ・建物がメインアクセスに近く、徒歩での来庁者にとってアクセスしやすい。 ・建物が法面に近いため、建物の安定確保が難しく、基礎による補強が必要になる可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A案に同じ 	<ul style="list-style-type: none"> ・南側は東西方向の平場が多く、ゆとりのある建物配置となる。 ・建物がメインアクセスから離れるが、主玄関がメインアクセスに向いていて、分かりやすい。 ・建物が法面から離れるため、建物の安定確保が可能で、A、B案に比べて安全性が高い。
災害時の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・防災広場や駐車場までのアクセスルートが狭く、災害支援の車両の出入りや防災広場への支援物資の搬出入が不便となる。 ・災害時に活用される駐車場と防災広場が建物の裏側で分かりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災広場や駐車場までのアクセスルートが狭く、災害支援の車両の出入りや防災広場への支援物資の搬出入が不便となる。 ・駐車場が分かりにくい、防災広場との連携ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場がメインアクセスに近く、災害支援の車両の出入りが便利。 ・災害時に活用される駐車場が建物の正面側にあり分かりやすい。 ・災害時には防災広場と駐車場の連携により、最大限活用できる。